

令和5年度 江戸川区立南葛西小学校 学校関係者評価 最終報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学びくふうする子 ○思いやりのある子 ○健康でたくましい子 	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	保護者・地域とともに「共育・協働・安心」の学校 「生きる力(知・徳・体の力)」を身に付けた子どもを目指して 組織的な教育活動を推進し学校の教育力を高めつつ、自らの向上を図る教職員
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ・「読書科」の校内研究を通じた、教員一人一人の授業力向上。 ・学習意欲を向上のため、地域の教育力の積極的活用。 ・要配慮児童への共通理解に基づいた円滑な対応や健全育成を図るための関係機関との連携。 ・ICTの積極的活用と情報教育についての共通理解。 <課題> ・南小スタンダードを基にした、学習規律の徹底と共通した授業の展開。 ・体力向上のための授業展開・休み時間の活用。 ・管理職候補、主任教諭等の人材育成や児童指導力や保護者対応力の向上		

教育委員会重点課題	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
				取組	成果	評価	コメント		
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型学習の授業の実施。 ・マッスルタイム(昼の補習時間)、チャレンジタイム(パーシブドリル活用補習)の設定 ・漢字/計算コンテストの実施 ・学習規律の徹底(南小スタンダードの徹底) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、児童肯定的評価80% ・実施率100% 学校独自の補習年間35回以上実施 ・年間2回実施。 ・児童肯定的評価80% ・週に1回以上の家庭学習100% ・全学年で教科担任制の実施 	A	A	A	学力向上のため、多くの取り組みが実施され、それによる成果も上がり、素晴らしい、これからは、学力向上の取組について、継続してほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・南小スタンダードを見直し、すべての教科で問題解決型学習ができるように環境を整える。 ・計画的にマッスルタイムを実施し、基礎基本の更なる定着を図る。 	
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内調べるコンクールの実施 ・調べ学習においてIPADの積極的な活用 ・探究的な学習での学校図書館の利用 ・「おすすめの本」読破 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者肯定的評価80%及び児童肯定的評価80% ・全学年で読書科にてIPADの活用 ・クラスで月3回以上の利用 ・クラスの80%の児童が読破 	B	B	A	調べる学習コンクールはいつも楽しみにしています。好きな本に出会うにはどう視点をもって、指導をしてほしい。 家庭での読書の大切さを保護者へ伝えていきたい。本の楽しさを知るために、角野栄子文学館を活用してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べるコンクールは全学年で実施できた。 ・どの学年も家庭との連携を充実させ、「おすすめの本」は児童が目標冊数を決めて達成できるように提案する 	
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上 ・スポーツインストラクターと連携した技術、体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究での研究授業の実施 ・休み時間に全児童が外遊びができるよう運動遊びの内容の改善及び運動強化月間を設定。 ・ゲストティーチャーを招聘し、授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級実施 ・児童、教員の肯定的評価80% ・全学級実施。 	A	A	A	校内研究は全学年実施し、協議会で出た意見をもとに事後授業を行った。 ・南タイムやかけ足月間、駆け足・持久走月間などを通して、児童がすすんで運動する機会を作ることができた。	ゲストティーチャーによる授業はとても良いと思います。次年度も継続して取り組んでほしい。 ・次年度のゲストティーチャーは体力テストで平均以下の運動・領域を体験できるよう検討し、実施する。 ・休み時間に全児童が外遊びができるよう運動遊びの内容の改善や運動強化月間を設定する。	
	・食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級実施 	A	A	A	年間行事計画をもとに円滑に授業を進めている。	社会科や生活科と連携するなど、楽しく食育を学べていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の実施をすることができた。
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育研修会 年3回実施 ・校内委員会 月1回情報共有 ・教材教具・掲示物の工夫、視覚的支援 ・エンカレッジルームの教職員の協力体制の構築 ・副籍児童との書面において交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施率100% ・実施率100% ・教員、児童肯定的評価80% ・協力体制表の作成及び随時対応 ・交流回数年間10回 	A	A	A	・特別支援教育研修会を年三回実施し、特別支援教育の視点で児童とどう関わればよいかを研修できた。実施率100% ・校内委員会にて児童の情報共有をし、誰でも指導できるように努めた。教員肯定的評価 100% ・どの教室でも掲示物を統一し、児童が落ち着いて学習に専念できるように環境づくりを担った。 ・エンカレッジルームの利用が多いため、校内体制をさらに整える必要がある。 ・副籍児童との間接交流をお便り交換を通じて充溢させた。	エンカレッジルーム、校内別室指導など、担当する教員のやりくりなど大変だと思いますが、続けて登校できる児童が増えてほしいと思います。不登校児童への対応は様々なアプローチが必要となる。少しでも不登校児童への対応をしっかりとってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じた個別支援を校内委員会及び特別支援委員会でも確認・実施していく。通級の教員とも連携しながら、エンカレッジルームの活用も継続して実施していく。 ・エンカレッジルームの担当割り振りをも一度確認し、担当できない日は必ず代理を立てるシステムを構築する。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWや外部機関と連携を強化し、不登校児童を関係機関と繋ぐ。 ・5年生とスクールカウンセラーとの面談の実施、担任との連携。 ・ハイパー-QUの分析を実施し、学級経営及び児童理解に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童との連携実施率100% ・全員実施。 ・QU研修の実施。 	A	A	A	・SCやSSWと連携して、不登校傾向の児童や保護者と関係構築に努めている。また、2学期10校内別室指導の取組を行っており、継続して登校できている児童が複数いる。 ・1学期に5年生が全員面接を行った。SCと担任で情報を共有し、日頃の指導に生かしている。 ・6月に実施したハイパー-QUの結果を分析し、学級経営や生活指導に生かしている。	フリースクール等との連携、情報提供ができるようになるよと思っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校対策委員会」を定期的に開催し、不登校の早期発見・早期対応、未然防止に努める。 ・「校内別室指導」を充実させ、不登校児童の減少に努める。 ・次年度もハイパー-QUを活用し、学級の様子や児童の心の様子をしっかりと把握し、学級指導・授業改善・個別指導に生かしていく。
	・いじめ、不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に一回、生活アンケート・いじめ関連の道徳授業の実施。 ・いじめ防止研修会の実施。 ・金曜夕会による共通理解による未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3回実施率100%・いじめ対応の継続事例0。 ・実施率100% ・保護者アンケート肯定的評価80% 	A	A	A	・学期に一回実施している「学校生活アンケート」で全校児童の実態把握に努めている。アンケートで気になっている児童には、直接聞き取りを行い、解決に向けて組織的に対応している。実施率100% ・毎週金曜日の夕方に「生活指導夕会」を実施し、全教職員で情報共有を行っている。実施率100% ・12月に実施した保護者アンケートでは、ほとんどの項目で肯定的評価80%を達成した。	見守りが欠けないように、対応してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ対策委員会」を定期的に開催し、いじめや問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に努める。 ・「いじめ報告書」を活用し、情報の共有と記録の蓄積を図る。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動、地域行事への参加、HP等による情報公開 ・学校公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、連絡メールを活用した、保護者・地域への積極的な情報発信 保護者アンケート肯定的評価80% ・年間4回の学校公開の実施。 	A	B	A	・学校の教育活動をホームページで全教諭が定期的に情報発信している。ホームページの更新回数338回(12月25日時点)また、テトルによる情報発信を進めた。保護者の肯定的評価91%。 ・年間4回の学校公開を実施し、学校の様子や児童のがんばりについて参観してもらった。	HPの更新作業は大変だとは思いますが、情報や児童の子どもなど楽しんで見えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを活用し、学校の様子が保護者・地域に広がるよう更新していく。 ・児童アンケート・保護者アンケートの結果を生かして、次年度の教育活動を充実させていく。 ・携帯連絡アプリのテトルの活用方法を見直ししていく。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回 学校評議員会の実施 ・保護者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施率100% ・回収率80%以上 	A	B	A	・年3回の学校評議員会を実施し、学校評議員の意見を頂き、学校教育の改善を図っている。実施率100%。 ・回収率が低いため、保護者アンケートを連絡アプリ「テトル」で実施することで、アンケートの協力しやすい環境を整えていく。	アンケートの利用など、ITの活用を進めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の声を広く聞くためにも、連絡アプリ「テトル」を活用し、アンケート回収率をあげていく。 ・児童アンケート・保護者アンケートの結果を生かして、次年度の教育活動を充実させていく。
特色ある教育の展開	・時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間に1回の一斉退勤日の設定 ・業務内容の精選 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間20回実施 ・学校評価を活用した業務内容の精選、改善。 	A	B	A	・毎週1日一斉退勤日を設定するとともに、20時以降の退勤を抑制し、昨年度より2時間程度時間外勤務を削減することができた。 ・学校評価を生かし、次年度の計画を作成している。	一歩ずつ働き方改革が進んでいると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の内容を把握することで、更なる時間外勤務を削減していく。